万引対策百般 TOKYO立ち 余話(10)

工業会JEAS20年史 愛と忍耐と決意 つながる心

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

4月の肌寒い日曜の朝、三千年の古社筑波神社に参った。皆に幸多きこと、コロナ退散を祈願した。その後、神社横手より万葉古路を歩く。気づくと万葉集第10巻1838番歌の歌碑「峰の上に降り置ける雪し風の共ここに散るらし春にはあれどもかな（峰の上に降り積もっている雪が風に舞い散ってここまで飛び散って来るようだ。春になっているというのに）」の前にいた。その碑の前で万葉の心に思いを馳せた。

名も無き農民や防人の「声」を収録した万葉集がもし無かったら、この国は精神的な意味で「国家」にはなっていなかったかもしれない。「つながる心を残してくれて有難う。中納言 大伴家持殿」とつぶやいた。

……

JEASと工業会

日本万引防止システム協会が誕生してから20周年を迎えようとしている。

社会的要請と行政指導により組成されたJEASの過去の峠道を振り返えることで、現在の立ち位置を確認し、未来への登り口を確認したいと思う。今回の余話はJEASの視点で綴る。

【JEAS20年史】主な出来事

●平成14年4月25日 設立発起人会開催 設立趣旨「EAS業界のために」各社積極参加

●平成14年6月3日 日本EAS機器協議会発足

☆平成14年1月 厚生労働省より、総務省・経済産業省経由で〝医薬品・医療用具等安全性情報 No・173の3-(4)に基づき、EAS機器製造・販売各社、およびその利用者である小売店に対して、同機器の設置場所を明示するよう〟協力要請がある。

さらに、JEASと（一社）日本不整脈デバイス工業会は、（社）電波産業会の「EAS機器が植込み型心臓ペースメーカ等に及ぼす可能性についての調査研究」に参加し、ペースメーカ48機種・植込み型除細動器10機種とEAS機器40機種総当たりテストが行われる。

その結果「植込み型心臓ペースメーカ等への電波の影響を防止するための指針」が発表された。

JEASはEASの普及と上記調査の実施母体として、当初「日本EAS機器協議会」の名称で創設され、現在まで北海道大学大学院で総当たり試験・干渉テストが継続されている。指針基準をクリアしたEAS機器には、EASステッカーが貼付されている。現在までのEASステッカーの配布枚数は約25万枚。貼付率は99%以上

●平成14年12月2日 JEASステッカーリリース

●平成16年6月3日 シンポジウム「JEASによせる期待」東京都副知事 東京都繁急治安対策本部長 竹花豊氏講演

●平成16年9月24日 「万引防止対策・都道府県実態調査」「万引きの発生を防止するお店の環境設計基準（例）」をプレス向けに説明

●平成16年10月 「EAS機器運用の手引き」作成・配布

●平成17年3月 「万引に関する10の誤解」作成・配布

●平成17年6月 「万引き防止機器ハンドブック」発刊 販売開始

●平成17年6月2日 通常総会「犯罪機会論と犯罪に強い3要素」立正大学助教授 小宮信夫氏講演

☆犯罪機会論（防犯環境設計・割れ窓理論）がJEAS防犯活動のベース理論となる。

●平成17年6月23日 全国万引犯罪防止機構（以下、万防機構）設立。なお、NPO法人登記は平成18年1月13日

●平成18年6月8日 「EAS機器の市場規模に関する調査報告書」プレスリリース

●平成19年5月21日 「生体電磁環境」研修会 首都大学東京大学院教授 多氣昌生氏

●平成19年6月6日通常総会 「EAS機器導入店表示POP」（EAS POP）の配布について、「万引防止と企業倫理」北海道大学大学院教授 新田孝彦氏講演

●平成19年9月28日 日経MJにストアセキュリティを通じ〈社会貢献をアピール〉掲載

●平成20年6月4日 シンポジウム「北海道における万引防止対策と企業の責任」北海道万引防止ウイーブネットワーク事務局長・マックスバリュ北海道株式会社 出戸信成氏

●平成21年6月5日 「平成20年度EAS機器の実態調査」報告書発行

●平成21年6月30日 「ソースタギングに関する意識調査」報告書発行

●平成21年11月26日 「生体電磁環境に関する講演会」開催 講師はNICT工学博士 渡辺聡一氏

●平成21年12月2日 「東京万引き防止官民合同会議」開催、「万引きをしない させない 見逃さない」社会総ぐるみ運動が本格的にスタート

●平成22年10月14日 警察庁「全国万引き防止官民合同会議」開催。全国の1年間の万引被害額約4千6百億円と発表。

●平成23年3月2日 東京万引き防止官民合同会議主催の「万引き防止のための防犯責任者養成講座」が東商ホールにて開催

●平成23年3月25日 月刊自動認識2月号「万引防止に利用されるシステム・運用体制」掲載

●平成23年6月13日 通常総会で協会名を「日本EAS機器協議会」から「日本万引防止システム協会」に変更。会費は従来の半額に改正。某調講演「犯罪の起きにくい社会づくりに対するコンビニエンスストア業界の取組み」日本小売業協会長 土方清氏

☆名称変更の趣旨を「設立から9年間親しんできました。日本EAS機器協議会を日本万引防止システム協会と産業団体に相応しい名称に変更をいたしました。みなさまもご承知の通り万引犯罪防止はEAS機器類だけでなく万引防止に関わるあらゆる関係の皆様の大同団結が必要であると考えて、名称を発展的に変更いたしました」とした。

☆各社からの強い要望で年会費を半額にしたために、平成23年度から平成29年度まで毎年50万円以上の赤字を連続計上。平成30年度においては、あと2年で活動を停止するところまで財政難に追い込まれていた。

●平成23年10月24日 「JEAS講習会」開催

●平成23年12月13日 冊子「保守加入のお勧め」配布開始

●平成24年4月12日 FMラジオ局J-WAVE は経産省担当官

●平成24年11月21日 警視庁通知『「万引き防止策」の強化について』を徹底するために、「（シリーズ〈業界で活躍する女性の紹介〉」がスタート

●平成25年7月13日 シリーズ〈業界で活躍する女性の紹介〉」がスタート

●平成25年8月27日 生産性向上設備投資促進税制に関するセミナー開催 講師は経産省担当官 翌年3月5日のセキュリティショー会場でも同内容のセミナーを開催

☆経産省担当官は「4000億円以上あると推測される万引被害は経済的にも大問題です。その対策のために、この制度をご活用いただければ幸いです」と説明された。後にJEASが工業会に認定されるきっかけとなった。

●平成26年11月20日 理事会15分勉強会「盗難保険・万引き危険担保特約等に基づく試験や認証セミナー開催

●平成27年5月12日 関連省庁確認後、理事会にて中国EASメーカーの入会が承認する

●平成27年9月3日 総務省総合通信基盤局電波部電波環境課の指導内容変更の発表

☆①EASは高周波利用設備の「誘導式通信設備」である。さらに②RF式EAS（8・2MHz）は微弱無線局にも該当する。これによりEASの電波利用時の出力レベルが明確となった。

●平成27年10月26日・27日 常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミット 長官 豊永厚志氏の激励を受ける

●平成28年6月3日 日本心臓ペースメーカー友の会賛助会員に申請、入会

●平成28年10月25日より本紙において「常習万引・集団窃盗未然防止」の連載開始

☆その後、「万引対策百般 TOKYO立ち」に連載名を変更し計61話が発表されている。

●平成28年11月29日 「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のおすすめ」発出

●平成29年6月8日 記念講演「チェーンストア勢力の在庫管理の実態」

●令和2年4月17日 「新型コロナウイルスからお客様と従業員を守るためにすべきこと」発出

●令和2年4月30日 JEASメンバー向けに肯カフェ（Webカフェ）営業開始

●令和2年5月26日 新事務所・YOTSUYA TOWER7階で業務開始

●令和2年6月4日 通常総会・記念講演会をTeams及びFacebookライブで初配信

●令和2年6月12日 「海外から来られた新たな仲間」の紹介がスタート

●令和2年6月16日 東京女子医科大学と首都大学東京による中間周波数帯調査報告会参加

●令和2年7月17日 聴いて納得！改正個人情報保護法セミナー開催

☆セミナーに先立ち、小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム審査」に合格したシステム認定証の授与を行う。

●令和2年7月3日 サーモグラフィ・システムについて安全な普及促進を図るための冊子を発出

●令和2年9月3日 工業会として初となる認定個人情報保護団体に認定

●令和2年12月8日 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会よりJEAS個人情報保護指針に指導をいただく

●令和3年1月19日 カメラ利用のためのマルチステークホルダープロセスセミナー 講師は板倉陽一郎弁護士

☆板倉弁護士とは令和2年12月4日付けで、会として法律相談等をできるように委託契約を締結。

●令和3年3月7日～12日京都コングレス（第14回国連犯罪防止刑事司法会議）開催。JEASはバーチャルブースで協力

●令和3年3月9日～12日 セキュリティショーに出展。前日の夕方に会場からTeamsでライブ中継

☆3月9日開催「小売業等のDX&LPの最新事例」セミナー映像は4月末までWeb配信

●令和3年4月7日 万防機構監修「日経・お店の万引き対策ビデオ」上映会開催

●令和3年4月23日 理事会にて科学保安講習会プロジェクトの講習会予定、DX推進プロジェクトの組成が承認される。

●令和3年5月12日・19日 「情報システム・モデル取引・契約書第二版」セミナー

●令和3年6月3日 JEAS通常総会・記念講演「万引きを生きる手段にさせないために―犯罪行為の背景に目を向ける」「コロナで進展した中国の技術・社会変容」開催

●令和3年6月10日・11日リテールテックOSAKA出展

☆同会場で6月10日「PIAの観点から、入退室管理（顔情報含む）の海外サーバー利用、画像シミュレーション・サービスの海外サーバー利用の注意点」（仮題）セミナー開催

●令和3年6月15日 万防機構通常総会開催

●令和3年7月6日 万防機構 ロス対策士検定試験開催

●令和3年9月13日 第2回 小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」試験開催

●令和3年10月22日 第1回科学保安講習会開催

☆JEAS20年の歴史に於いて、順風満帆の時は少なかったと思う。会員各位も同様であったと思う。ある時、EASは「安全なの…」「お客様を疑うことになるので…」と問われ、ある時には、顔認証は「個人情報では?…」「風評被害なるかもしれないので…」と問われた。その問いに誠実に答えられるよう、学び、やるべきことをやり遂げてきた。だからこそ、皆とその忍耐を分かち合い、『ロス対策や防犯対策のご提案を通じて、小売業のお客様の役に立ちたい。誰もが等しく安全・安心を享受できる防犯民主主義の実現に向けて、EAS機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会の務めを果たしていきたい』と切に思う。

……

インド独立の父として今もインド国民から敬愛されているマハトマ・ガンジーはアンヒサー（非暴力・不服従）を決意した時「目的が崇高であればあるほど、正しい手段が求められる。目的は手段の集大成にすぎない」と目的のために手段を選ばない者になってはいけないと心に決めた。このガンジーの言葉はブッダ（釈迦）が歩いた仏道の道でもあった。

人の世の苦を説き続けた修行完成者のブッダは終焉の地クシナーラーに向かって歩く最中、老いと病魔に苦しむなかで「命の賛歌と感謝」を人生で初めて告げた。「樹々は美しい この世は美しい 人のいのちは甘美である」と。ブッダですら自分に帰依（苦との真の和解を）するために80年の月日を要した。そこは私には永遠にたどり着けない境地である。しかし、ガンジーとブッダが説き続けた正しい道を歩き続ける努力は実践しなければと思う。そう、その努力の瞬間こそ、我々の生きる証なのだから。

そうだ。コロナが収束したら20周年を記念として「つながる心」「万葉の心」でJEASの有志とともに筑波山に登りたいものだ。その頂に立ち眼下に広がる我々の国土、遥か東方の富士山を見渡せば、今まで気づかなかった未来への登り口が見えるかもしれない。

【お詫び】

本来であれば、JEASに運営に尽力いただいた皆様、ご支援いただいた皆様のことはエピソードを含めて紹介したいところですが、紙面上の制約があり断腸の思いで割愛させていただく。

万防機構報告

3月12日に開催された日本経済新聞社主催「セキュリティショー2021」内の万防機構セミナー「新しい時代のロス対策・万引対策」動画（https://youtu.be/5QI5C9JN184）を限定公開しています。5月1日時点で、万引対策に関わる皆様621人にご視聴いただいております。未視聴の皆様は万防時報28号と併せてご覧いただければ幸いです。詳しくは万防機構事務局まで。

全国万引防止機構（通称：マンボウ）
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人

文：事務局（稲本義範）

20th Anniversary

愛と忍耐と決意＊つながる心

工業会 JEAS 認定個人情報保護団体

愛するお店・地域の皆様のお役に立ちたいという会員総意の決意
“つながる心”をもって、進むべき道を決めてきた
20年もの歳月、支え続けていただいた皆様への感謝、という燈明を持って
つながる心で、この道を照らし歩き続けていく

～ 防犯民主主義実現に向けて ～
EAS機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会

正会員（正会員数 33社）

アイアンドティテック㈱
IDECファクトリーソリューションズ㈱
AWL㈱
アクシスコミュニケーションズ㈱
アースアイズ㈱
アドセック㈱
㈱エイジス
㈱SGI
NECソリューションイノベータ㈱
エム・ケー・パビック㈱
㈱オカムラ
㈱キャトルプラン
㈱杏林社
グローリー㈱
㈱ゴジョウ・ウェイズ
㈱KSM
サクサ㈱
㈱セキュリティデザイン
CIA㈱
㈱GeoVision
シグマ㈱
セコム㈱
セフトHD㈱
高千穂交易㈱
タカヤ㈱
チェックポイントジャパン㈱
㈱店舗プランニング
日本電気㈱
パナソニックシステムソリューションズジャパン㈱
ビブリオテカ・ジャパン㈱
マイティキューブ㈱
Matsuo Sangyo㈱
㈱三宅

賛助会員

亜細亜印刷㈱
沖電気工業㈱
㈱自己啓発協会
三愛化成商事㈱
チェスコムアドバンス㈱
㈱日本保安
㈱ロケット
㈱JSS
サニーヘルス㈱

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&パック事務局

（2021年4月23日現在）

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会 委員長・副会長 三宅 正光

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。本年度は推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

推奨顔認証システムステッカー

技術基準委員会 委員長・事務局長 田丸 典億

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。
①対ペースメーカー等との干渉実験
②電磁界測定 ③電気用品安全法対応
④各種の基準作り

EASステッカー

政策・研究委員会 委員長・理事 摺田 祐司

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。
調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会 委員長・副会長 近江 元

工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらをとりまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会 会長・個人情報管理室長 稲本 義範（総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師）

速報！ 小売業ユーザー様向けオンラインセミナー予定
詳しくはJEASのHomepage＆Facebookにて

●6月3日(木) 通常総会・記念講演
第一人者による「中国の最新リテールテック情報」や「高齢万引者対策」の講演開催

●6月10日(木) リテールテックOSAKA2021会場
JIPDEC専門家による「画像等個人情報の越境問題とデータ利活用」セミナー開催

ロス対策メルマガ 近日開始!! 乞うご期待!

連絡先 工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 7F
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
https://www.jeas.gr.jp E-mail：infonew@jeas.gr.jp

Home page Facebook

June 3, 2002：Establishment of the Japan Association of Electronic Article Surveillance Machines.
Feb 1, 2018：JEAS became an industry association for electronic productmonitoring equipment and security cameras.